

1 研究主題 『見方・考え方を働かせ、資質能力を高める理科・生活科学学習』

～理科：電気の単元を通して 生活科：幼児期の活動と理解への接続を意識して～

2 主題設定の要旨

本研修会では、理科・生活科の単元において、「見方・考え方を働かせて資質・能力を育む理科・生活科学学習」とはそれぞれどのような学習なのかを提案する。

2017年6月に告示された幼稚園、小学校、中学校の新学習指導要領では、改善の方向性として、これまで以上に、各教科の学習内容を学ぶことを通じて「何ができるようになるか」を意識した指導が求められている。「何ができるようになるか」については、「学びに向かう力・人間性」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」三つの資質・能力が示され、これらを育むことを目標としている。

では、どのように三つの資質・能力を育てていくのか。新学習指導要領の解説理科編では、理科の本質的な意義を明確にし、見方・考え方を働かせることで、資質・能力を身に付けることが必要であると示されている。また、生活科編では、幼児期の教育とのつながりや小学校低学年における各教科等における学習との関係性、中学年以降の学習とのつながりも踏まえ、具体的な活動や体験を通して資質・能力（特に「思考力、判断力、表現力等」）を身に付けることが必要であると示されている。

以上のことから、理科では、見方を規定し、その見方と考え方を働かせて資質・能力を身に付けるための方法と評価方法を考案することで、生活科では、幼児期の活動と理解や中学年以降のつながりを踏まえて資質・能力を身に付けるための方法と評価方法を考案することで、新学習指導要領が目指す理科・生活科学学習が実現できると考え、本研修会の提案とした。

3 主催 ソニー科学教育研究会 東京支部

4 後援 ソニー教育財団 ソニー科学教育研究会

5 開催期日

平成30年8月9日（木）～11日（土）

6 開催場所

J A 全校教育センター

〒194-0293 東京都町田市相原町4-7-71

TEL：042-783-7030

FAX：042-783-7018

7 講師

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 鳴川 哲也 氏

大妻女子大学教授 石井 雅幸 氏

8 参加費

宿泊費（一人当たり）※2泊3日 ￥20,000（予定）

9 日程

8月9日（木）第1日	8月10日（金）第2日	8月11日（土）第3日
12:30 受付	7:30 朝食	7:30 朝食
13:00 開会行事 基調提案	8:30 中間発表 事務局長現地研修	8:20 発表準備 9:00 全体発表
14:00 講師講演	11:30 昼食	11:00 指導講評
15:00 班別研修1 事務局長会議①	13:00 班別研修3 事務局長会議②	11:40 閉会行事 12:00 解散
18:00 夕食・懇親会	18:00 夕食	
21:00 班別研修2	19:30 班別研修4	
22:30 1日目研修終了	22:30 2日目研修終了	

初日の懇親会は19：30まで

10 各学年で取り上げる単元

低学年	動くおもちゃであそぼう	小5年	電流が作る磁力
小3年	明かりをつけよう	小6年	電気の利用
小4年	電流の働き	中学校	電流と磁界

11 研修員の支部割り当て

	生活科	小3年	小4年	小5年	小6年	中学校	合計
北海道北		1		1			2
北海道南	1		1				2
青森		1				1	2
岩手	1		1				2
秋田				1		1	2
宮城	1				1		2
山形		1		1			2
福島			1			1	2
茨城		1			1		2
栃木	1			1			2
埼玉			1			1	2
群馬			1		1		2
千葉		1			1		2
東京	1	1	1	1	1	1	6
神奈川		1		1			2
横浜	1				1		2
山梨			1			1	2
計	6	7	7	6	6	6	38

12 成果発表

研修最終日に、成果発表として各部会として模擬授業を行う。

13 参加申し込み

別紙1の申込用紙に記入の上、事務局長にFAXで送信してください。

<申込先> SSTA東京支部事務局長 鈴木 智裕（練馬区立関町北小学校）

TEL：03-3920-1027

FAX：03-3929-9056

<申込締め切り日> 平成30年6月15日（金）

14 当日までの研修員の課題

自分の所属する分科会の単元について、以下についてA4用紙1枚程度でまとめてきてください。

①理 科：担当単元で働かせる「見方」を規定する。※各部会との系統性を意識

生活科：幼児期の活動と理解が、生活科の学びにどのように働き、その後、理科の学びにどのように働くかを規定する。

②担当単元で育成する「資質・能力」を規定する。※三つの柱全てでなくてもよい。

③理 科：見方・考え方を働かせる方法と資質・能力を育成するための方法を考える。また、それぞれの方法で指導した際の評価方法も考える。

生活科：幼児期の教育とのつながりや小学校低学年における各教科等における学習との関係性、中学年以降の学習とのつながりも踏まえ、具体的な活動や体験を通して資質・能力を育成するための方法を考える。また、それぞれの方法で指導した際の評価方法も考える。

④資質・能力を育成する単元計画を考える。

当日は、100部印刷・持参し、左側に穴あけパンチ（2か所）であけておいてください。

15 交通手段

JA全国教育センター

●路線バスでお越しの場合
 高尾駅南口より京王バス
 【高24】館ヶ丘団地行き、終点館ヶ丘団地バス停より徒歩15分
 (バス時刻表▶)
 橋本駅または相原駅より神奈川中央バス
 【橋16 橋20 橋25】大戸行き、上大戸バス停より徒歩10分
 (バス停から50m先の自販機を右へ)
 (バス時刻表▶)

●タクシーでお越しの場合
 JR中央線・京王線高尾駅南口より約10分
 JR横浜線橋本駅北口より約25分
 JR横浜線相原駅西口より約15分
 Google Mapで見る▶

●羽田からお越しの場合
 東京モノレール 羽田空港 ▶ 浜松町 ▶ 山手線 京浜東北線 浜松町 ▶ 中央線 東京 ▶ 高尾

所要時間：約1時間40分(東京駅から中央線特快利用)
 ※この時間に乗り換え等の時間は含まれません。

高尾駅南口に東京支部員が待機しています。そこからタクシーに乗り合い、お越しいただくのが便利です。

16 その他

(1)研修にかかわる持ち物

- ・課題のレポート100部（A4両面印刷で1枚、左側に穴あけパンチ2ヶ所）
- ・新学習指導要領
- ・所属単元で必要と考える教材・教具等
- ・資料作成や発表に必要なPC等

(2)宿泊にかかわる持ち物

- ・洗面用具（歯ブラシ・タオル等）
 - ・入浴用具
 - ・寝巻、3日間分の着替え
 - ・その他、各自が宿泊に必要なもの
- ※近くにコンビニ等はありません。
- ※シャンプー（リンスイン）、ボディソープは宿舎にあります。